

マイクロンは、イメージング技術を主軸に2005年に設立したCRO

で、画像解析サービスや臨床開発支援のほか、イメージングバイオマー

理のほか最先端の読影技

マイクロン

中国で画像解析サービス拡充
プロスウェルとの相乗効果で



鈴木氏

中国で画像解析サービス拡充

イメージングCROのマイクロンは、新薬開発が活発な中国市场での画像解析サービスの受託拡大を図っている。戦略的業務提携を結ぶ中国CRO「プロスウェルメディカルカンパニー」との相乗効果により、グローバル大手のイメージングCROがひしめく中国市场でのプレゼンス拡大を目指す。鈴木宏昌取締役画像解析事業部長は「既に新規顧客に100社以上アプローチできており、今期には結果につなげたい」と述べ、中国での事業拡大に自信を示す。

ながら世界におけるプレゼンスを獲得したい」と話す。

中国での事業拡大に向けた取り組みも進めていく。国内ベンチャーを中心とした研究開発が加速している中国では、開発の初期段階から医用画像評価を使用する試験が増えている。1月には、中国CDE（医薬品調査センター）から抗癌剤関連の臨床試験の画像評価基準に関するガイドラインが発表され、画像解析サービスのニーズが高まっている。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

一方、国内では今年に入つて電子カルテ開発・販売を手がけるシーエス

（中国）は「中期の成績につながれば中国での道は開ける」と前向きな姿勢を示す。

具体的に、シーエスア

イが手がける医療施設向

けウェブサービス「かかりDX問診」のシステム基盤を活用し、電子的

患者報告アウトカム（e

PRO）やパーソナルヘルスレコード（PHR）

を電子カルテと電子症例

報告書に連携させる。

来年1月にサービス開始予定で、鈴木氏は「順

調に開発が進んでいる。

患者さんはePROやP

HRを使って症状を入力

し、症状が発症したら病院で画像診断をする。

その後、治療薬の投与や治療組み入れの照会、患者

さんのスクリーニングと

いった方向性を検討して

さらに、国内外の製薬

企業や医療機器メーカー

の橋渡し役となって、画

像診断と治療のビジネス

マッチングを行うという

新たな取り組みにも着手

した。国内導入を検討す

る海外メーカーの画像診

断技術と製薬企業が求める画像診断技術を、顧客

にそれぞれ示すことで画

像診断医療機器と治療薬

の同時開発を促すとい

う取り組みだ。

鈴木氏は「海外からの

技術を国内の製薬企業と

共同で研究開発して、マイ

クロンが医療機器の申

請を行なうことも考えていい

る」と話す。既に欧米の複数社から引き合いがあり「半年以内には実績を出したい」と意欲を示している。

Imagingを総合的に研究し、進化させる企業

医薬品・医療機器の開発支援

臨床試験の有効性・安全性評価に対応した画像中央判定業務をはじめ、CRO業務の一括受託に対応した総合的なサービスを提供します。

- ・撮影設備の調査を含む施設調査・施設認定
- ・撮影医の提案・調査・選定・中央判定支援
- ・モニタリング・サーディパーティヘッダ委託・管理

プログラム医療機器（画像診断）の開発支援

臨床における画像中央判定の実績を背景に、PMDA相談から画像データの収集・解析・認証・承認取得までオペレーションを含めた高品質なサービスを提供します。

- ・PMDA相談およびプロトコル作成
- ・ゴールドスタンダード作成
- ・性能評価・撮影試験・統計解析・報告書作成

Imaging Bio-Markerの開発支援

最新のImaging技術で、新規の評価指標を創り、臨床試験と同時に客観的な指標として確立し、日常診療で利用可能なImaging技術に育てます。

- ・海外のImaging Bio-Markerの導入
- ・新規画像評価指標の調査・提案・作成
- ・画像評価指標の情報発信・研修

